Chemica

vol. 1　新生

平成26年中期計画

計画NCT-26の基本構想決定！

めざせ
売上高1000億円！

1 基本思想

環境の激変が予想される中、現状商権・仕入先・需要家だけを維持するのでは生き残りは不可能である。

成長が生き残るすべであり、停滞は衰退である。

2 経営基本方針

2-1 成長路線を更に推進

社会が商社を認知する基準として、連結ベースで**売上規模1000億円**を設定する。

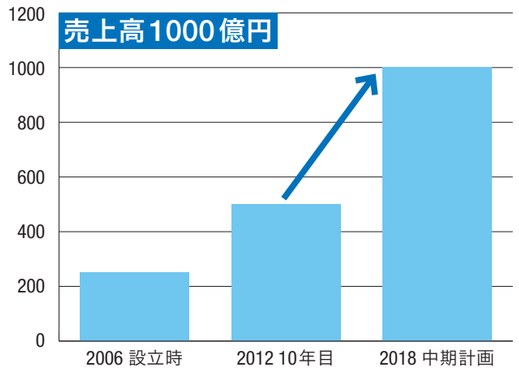
2-2 成長路線推進の考え方

①全体適正から部分適正を是とする。
②役員は新規ビジネスへの挑戦を主体とする。
③ライン部長の収益確保機能を強化する。

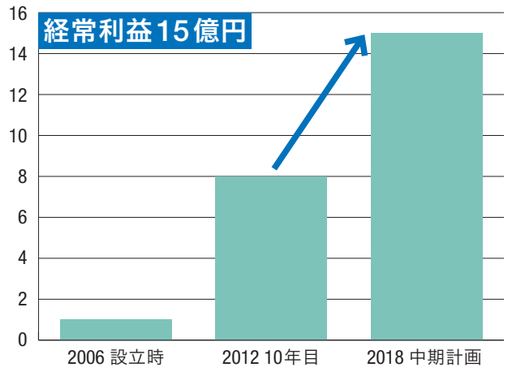
2-3 社会に認知される会社へ

商社活動には会社イメージの拡大が必要である。その為の費用は不可欠な経費であり、商行為と同様に時間使用を必要とする。
①マスコミ等を通じたプロパガンダ
②社会貢献を通じた会社存在のPR
③業界活動への積極的な参加
④経済団体等への参加

売上高（億円）



経常利益（億円）



3 スタート

既に始まっている中期計画の達成を強力に推進するために

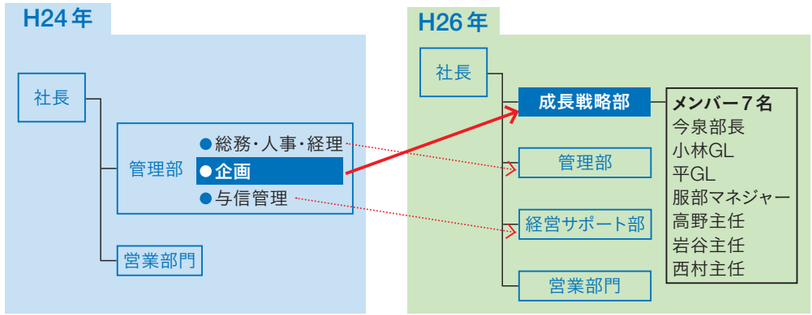
3-1 2月1日付けで成長戦略部を新設し、管理機能の強化を図りました。
3-2 4月1日付けで香港に新会社を設立して、海外事業を強化しました。
3-3 3月3日に札幌支店を移転リニューアルし、お客様対応力をアップしました。

3-1 中計推進の中核として成長戦略部の誕生

企画部門の独立

管理部から企画機能を独立させ、中計推進の中核組織として成長戦略部を設立した

●機能組織図比較



私たち「成長戦略部」は、

①「NCT-26」中期計画の推進

売上高 現行 500 億円 ➡ H30年度 1,000 億円

②魅力的な新ケミカル商事の構築
③新規分野進出の企画

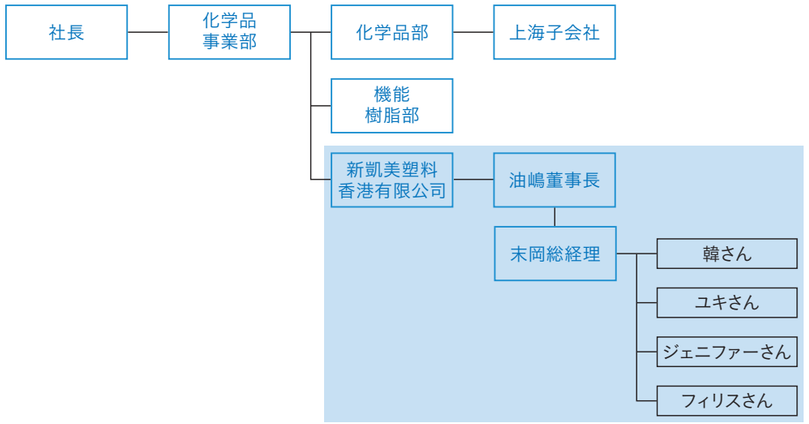
現在の業務内容は、主に

①NSC（NCT Strategy Committee：新ケミカル商事戦略委員会）の
　定例メンバーとして戦略の企画立案
②「NCT-26」中期計画の推進
③M&A企画・推進、新規事業起案・推進・支援
④経営理念の中心であるCSR活動の積極的推進
⑤時代を先取りする人材育成
⑥当社の対外的魅力アップのための広報戦略立案・実施

と多岐に亘っており、正に全社成長戦略の中心を担うと共に、
成長のため、更に当社のブランド向上に役立つことは、何でもする部門だと言えます。

3-2 海外事業強化戦略の一環として「新凱美塑料香港有限公司」設立

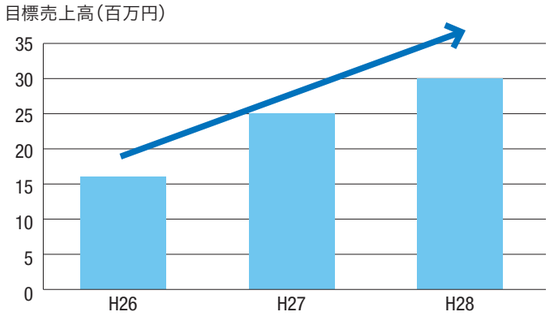
中計の柱である、海外事業の強化策として上海子会社に加えて2014年4月1日付けで、香港にポリスチレン系樹脂（難燃、着色、特殊透明）コンパウンド材料の製造・販売子会社「新凱美塑料香港有限公司」を立ち上げました。



新凱美塑料香港有限公司はポリスチレン系難燃樹脂事業をコア事業とし、加えて新ケミカル商事が独自開発した特殊透明樹脂等を主力に、事業展開する樹脂製造会社です。併せて以前より香港で行っていた商社、貿易業務にも力を入れメーカーと商社の合体企業として拡大していく予定です。この地区は、香港に隣接する深圳を中心とするOA、家電、雑貨、玩具の巨大マーケットがあり、樹脂事業としても非常に魅力的な場所です。

オフィス入居ビル

●新凱美塑料香港有限公司の事業拡大計画



3-3 お客様対応強化対策として札幌支店の移転完了

当社では、お客様対応強化策として逐次本社、支店の新オフィスへの移転を実施してきました。

●既に移転を完了したオフィス

このたび、札幌支店の移転が完了いたしましたので、札幌支店長より概要を紹介いたします。

札幌支店長　長谷川　博一

この3月3日より札幌支店事務所を移転し、無事に営業を開始することが出来ました。場所はJR札幌駅から西に徒歩5分ほどで、旧事務所の場所に比べますと格段に交通の便が良くなりました。お客様にも非常に来店して戴き易くなった場所だと思います。また、旧事務所付近は若干にぎわいが少なかったものですから、札幌駅周辺の新事務所となり、同じ札幌市内中心部とは言え、ホテル、飲食店などの充実ぶりが大きく違い、改めて便利な場所す。

北海道の農業は、今後TPP問題などで動向が注目されるところであります。農業組織改革なども取り出され始め、これまでと違った観点から物事を見て行かなければならない時なのだと思います。体制・組織・流通などの変革にチャンスを見出し、商売のボリュームを増やして、また北海道という地域社会に貢献して行けるような支店運営を試みて参ります。

平成26年度 経営方針

代表取締役副社長
宮永賢一

スローガン
新生

●新ケミカル商事は今年8月1日**設立10年**を迎えます。役員／従業員の努力で成長ができました。しかし、**環境は劇的に変化**しています。今のやり方ではこの変化に対応できません。

●「パラダテム・シフト」当社の主力である汎用製品は減少する傾向にあることは事実です。今のままであれば、**早晩当社は衰退会社**になります。

●新ケミカル商事は今年から**変わります／生まれ変わります**。
それには厳しい試練が必要です。役員・従業員の皆様に今までと違った厳しい要求をさせて頂きます。自らの道は自らの力で切り開いて下さい。
新生の「第一歩は現状の否定である」こと
「新しく生まれ変われる人のみがこの会社に残れる」ことを
肝に銘じて下さい。

1 経営方針

1-1 基本方針

●**NCT-26中期計画のあらゆる可能性を実行する。**
①成長路線の飛躍推進→5年後売上高1000億円に向けて進む。
②収益の全体最適から部分最適への変換
③役員・ライン部長の責任強化

役員	・個別の会社的運営組織の収益監督者として機能する。 ・主体は新規事業へのチャレンジとする。
ライン部長	・個別の会社的運営組織の収益責任者として機能する。 ・更に、組織運営の責任者として組織活性化部下育成に注力する。

1-2 中期計画で検討された事項の具現化

●**経営体制**
経営の意思決定を迅速に行うため、その中核機構として
NSC（新ケミカル商事戦略委員会）を新設。

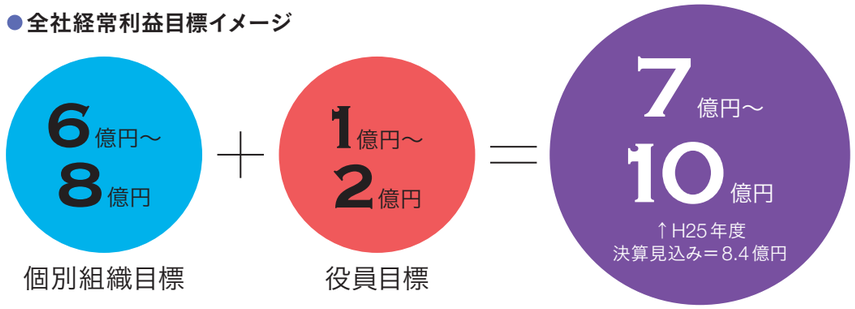
●**組織**
中期計画推進の中核機構として、成長戦略部を新設。
部門・支店は、役員・部門長をトップとした**個別の会社的運営組織**とする。

1-3 社格検討委員会答申の具現化

①チャレンジ精神を会社の社是とし、会社はあらゆる可能性にチャレンジすることを積極的に実行する。更にチャレンジ精神を評価の対象にも取り入れる。
②社員教育は自己管理で対処していたが、社員育成の場の提供を検討する。
③メセナの対象拡大を検討する。

2 平成26年度予算

●**全社経常利益目標イメージ**



3 役員・部門長の主要重点課題

平成26年度から部門・支店の運営は、
役員・部門長をトップとした運営組織に変わります。
役員・部門長は組織全体の責任を完遂すると共に、
リーダーとして、次の主要重点課題に取り組みます。

役職・部門	氏名	主要重点課題
常務取締役	和久田 茂彦	①平木商事・水谷商事の事業の拡大 ②バグフィルター・ビジネスの全社横断的展開
取締役	辻 貴夫	海外事業拡大（マレーシア・プロジェクト）
取締役	池田 達矢	①福岡支店、東京営業部に傘下の販売店を作り上げる ②部門毎に地域戦略を検討作成する（セメント・生コン以外）
取締役	鮎川 保美	①中期計画の推進　②新ケミカル商事コンピュータシステムの再構築
取締役	富岡 和弘	①中性固化材の販売　②取引先の施工協力会社への営業展開
取締役	油嶋 武晴	香港事業の拡大→スムースな立ち上げと収益確保事業拡大のシナリオ作成
建材事業部	郷内 正樹	過去経験のない需要旺盛、資材高騰に対応すべく、安定供給、値上げ転嫁による収益確保を推進
化学品部	川本 三四郎	①2.メチルペンタナール委託加工案件取得 ②新規ユーザーへのスチレンモノマー拡販
肥料部	坂口 修一	硫安価格低下及び生産減の状況下、収益低下をカバーする（利益Maxの推進　満船配船・価格変動見合い販売）
コークス部	中村 朋史	小塊コークス及び粉コークス生産減に伴う代替玉探求・販売等シェア防衛対策の実行
君津事業所	和田 実	新規有機溶剤拡販
札幌支店	長谷川 博一	①アンモニア水の落札 ②ABSフロートの新規開発
大阪名古屋支店	吉崎 隆美	①価格対応による硼砂、硼酸、水硼砂の拡販 ②環境ビジネス関連事業推進
九州支店	梁井 浩一	①液体アンモニア事業の収益改善（フレート削減、値上げ、修繕費削減） ②肥料関連輸入原材料の拡販
平木商事	平木 恵美子	ハウス用A重油助燃機材、スラグ／消石灰、スラグ／フミン酸の拡販
水谷商事	平木 恵美子	「KS-S.M.L.」および「KS-SX」の拡販

苦難を乗り越え 成長の10年 売上高は 設立時の2倍へ

苦しかったこと

平成18年　株主の変更
平成21年　岩谷勝雄 前会長　逝去
平成23年　取引先倒産により、約5.6億円の損失が発生

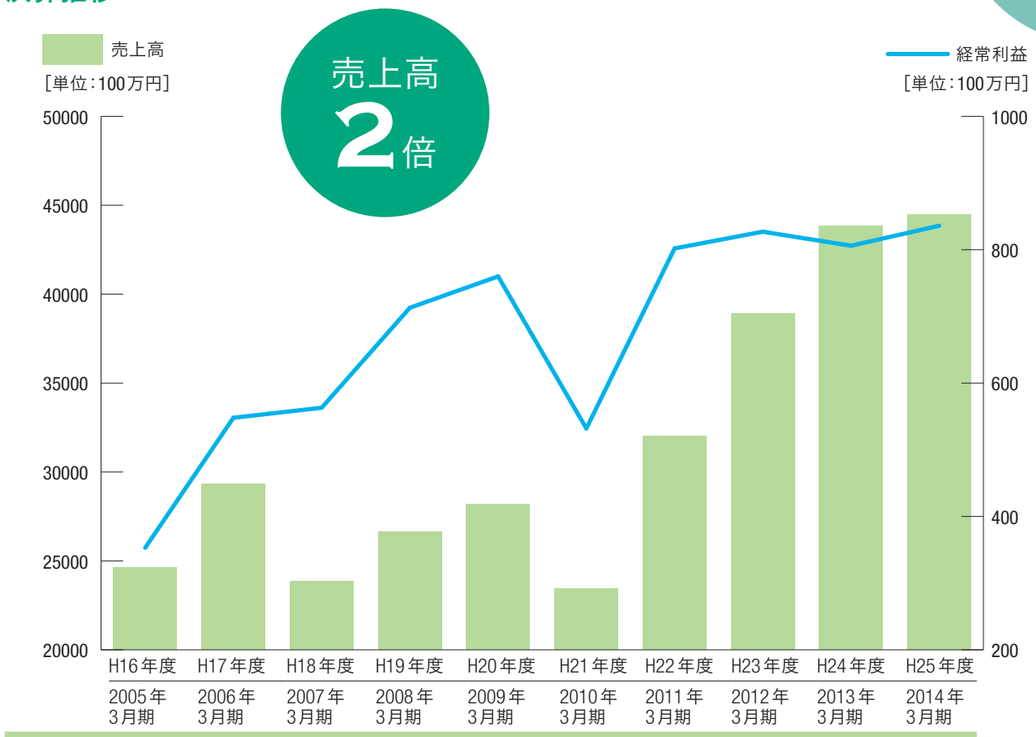
成長のキッカケとなったこと

平成20年　CSR宣言
平成21年　株主に対する配当を実施
平成24年　日商岩井セメント㈱より商権を引き継ぎ、建材事業を拡大

年表

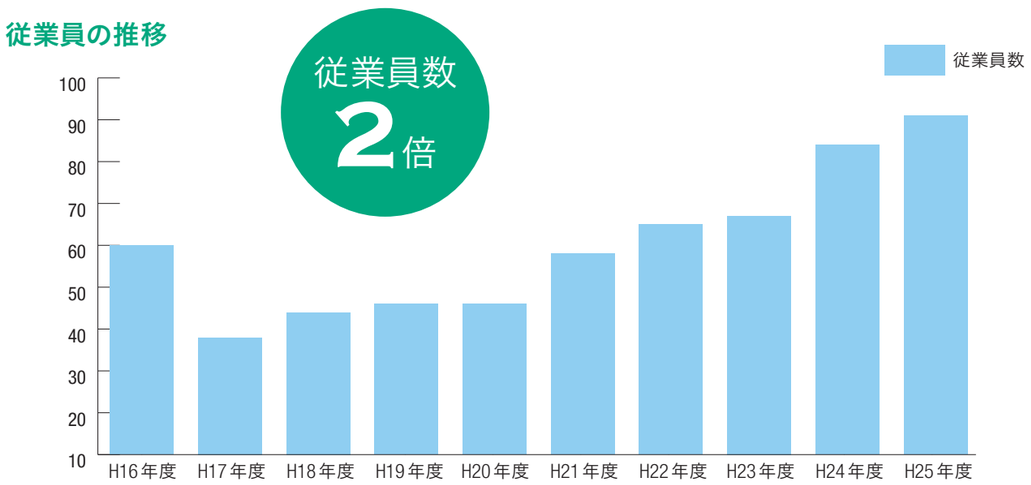
和暦	スローガン	役員	月	内容
H16	**新日化に**		8月	新ケミカル商事㈱発足
H17	**貢献出来る体制の早期構築を図る**	社長　上田 哲則	3月	君津カスタマーセンター新設
H18	**自立した収益体制を構築する**	会長　岩谷 勝雄 社長　上田 哲則	**3月**	**株主変更** **＊新日鐵化学㈱(現：新日鉄住金化学㈱)100%→日豊興産㈱90%、新日鐵化学㈱10%**
				新日鐵化学㈱直売の影響による売上規模縮小に伴い、要員の縮小を実施
			4月	ピン事業 参入
			12月	上海オフィス新設
H19	**課題設定型マネジメントを推進する**	会長　岩谷 勝雄 社長　上田 哲哉	1月	新化學商事香港有限公司　設立
			11月	トルエン・キシレン事業 参入
H20	**目指せ「ワンランクアップ」**	会長　岩谷 勝雄 社長　上田 哲則	3月	NSシンフォニー、北九州音楽協会、天使育児園へ寄付を開始
			4月	**CSR宣言**／建材事業 参入(建材部を新設)
			8月	アンモニア事業 参入
H21	**ピンチはチャンス**	社長　上田 哲則 副社長　宮永 賢一	4月	新日鐵化学㈱殿より九州製造所内物流業務を受託
				山口県光市にて薬品デリバリー業務を受託
			6月	**株主に対する配当を実施**
			7月	**岩谷勝雄 前会長　逝去**
			8月	富津ガスセンターを新設
H22	**躍進**	社長　上田 哲則 副社長　岸田 信次	4月	新化実(上海)貿易有限公司 設立
			5月	本社 移転(現在の秋葉原ダイビルへ)
H23	**更に躍進**	会長　上田 哲則 社長　宮永 賢一	3月	東日本大震災 発生 (当社も約1.8億円の損失発生／つくば市・北九州市へ義援金進呈)
			10月	㈱平木商事が当社グループに仲間入り／当社マスコット「福丸くん」誕生
			12月	**取引先倒産により、約5.6億円の損失が発生**
H24	**結集そして飛躍**	会長　上田 哲則 社長　宮永 賢一	**4月**	**日商岩井セメント㈱より商権を引き継ぎ、建材事業を拡大**／福岡支店を新設
			12月	香港子会社 事業を停止
H25	**一新 ～初心に還って～**	会長　上田 哲則 社長　宮永 賢一	4月	環境リサイクル事業 参入(環境リサイクルグループ新設)
			7月	資本金を4億円へ増資
			9月	㈱水谷商事が当社グループに仲間入り
H26	**新生**	社長　上田 哲則 副社長　宮永 賢一	3月	香港子会社　新凱美塑料香港有限公司に名称を変更し、再スタート
				日興ケミカル㈱が当社グループに仲間入り

決算推移



	H16年度 2005年3月期	H17年度 2006年3月期	H18年度 2007年3月期	H19年度 2008年3月期	H20年度 2009年3月期	H21年度 2010年3月期	H22年度 2011年3月期	H23年度 2012年3月期	H24年度 2013年3月期	H25年度 2014年3月期
売上高	**24,642**	**29,317**	**23,858**	**26,635**	**28,191**	**23,428**	**32,008**	**38,914**	**43,852**	**44,200**
売上利益	1,090	1,481	1,262	1,624	1,722	1,577	2,015	2,218	2,321	2,400
経常利益	**353**	**548**	**563**	**713**	**760**	**532**	**802**	**827**	**806**	**830**
当期利益	-17	251	291	373	393	275	335	123	438	500
配当金額					152	83	101	39	132	150

従業員の推移



	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
使用人数	**60名**	**38名**	**44名**	**46名**	**46名**	**58名**	**65名**	**67名**	**84名**	**91名**
平均年齢	42歳	44歳	47歳	49歳	49歳	48歳	46歳	46歳	45歳	45歳

CSR活動（社会貢献活動）の紹介

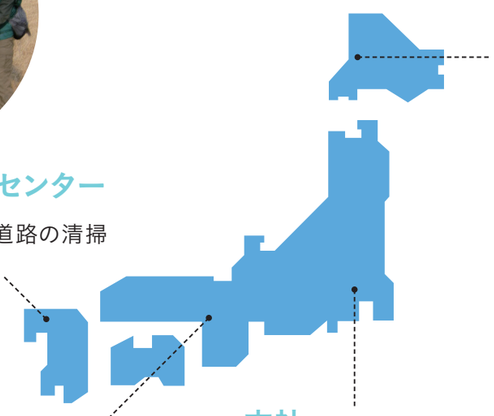
新ケミカル商事では、CSR活動の一環として
社会貢献活動を行っています。
例えば、使用済み切手の収集や、
ペットボトルキャップリサイクルによるワクチン寄贈などを
行っています。その他、地域社会への貢献として
各部門独自の活動を行っています。今回は、一部ですが
どの様な活動を行っているかを紹介したいと思います。

北九州カスタマーセンター

事務所近くの海岸周辺道路の清掃
活動に参加しています。

札幌支店

盲導犬協会へのボランティア活動
や、北海道の森を守るため、植樹活
動にも参加しています。



本社

化学品事業部では、毎月一回、秋葉
原の街を路上清掃する、秋葉原駅
周辺地区生活環境改善推進連絡会
に参加しています。本社では他に、
建材事業部東京営業部、肥料部、
コークス部が合同で、神田川に清流
をよみがえらせるための微生物（EM
菌）を利用した水質浄化活動を行っ
ています。

大阪支店

月に1回、大阪駅前の放置自転車“0”
への啓蒙活動「サイクルサポーター」
に参加しています。

これからも全社としての活動は
もちろんのこと、地域社会へ
貢献できる活動も積極的に
参加していきたいと思います。

社内報「Chemica」の誕生について

変化し続けるものだけが生き残れる。

当社を取り巻く環境は激変しています。この変化する環境に合わせて、
当社がどの様に変化出来るかが大きな課題です。

新ケミカル商事は、今年から生まれ変わります。

今までの遣り方で良かったこと悪かったこと全てゼロベースにして、
5年後売上高1000億円を目指します。

社内報も生まれ変わります。

「Chemica」として生まれ変わります。
社内報は、会社の経営状況や会社で起きたこと
会社が考えていることを正確に、伝達する手段です。
従業員は勿論として、株主・需要家・仕入先様に
適宜会社情報を正確に公開いたします。
更に、従業員のご家族の皆様にもご理解頂きたく、
そのことに耐えうる内容となる様に努力するつもりです。
更に、社内報「Chemica」は、環境変化に対応し、
変化してゆく新ケミカル商事の生きざまを
皆様に伝達出来るよう努力致します。

Model : 上田哲則（代表取締役社長）
Photo : 石井孝典
Design : 岡本デザイン室

NCT 新ケミカル商事株式会社
New Chemical Trading Co., Ltd.